

# 智頭町 智頭町 森林組合だより

平成30年12月 No.24

☎689-1402 智頭町森林組合  
鳥取県八頭郡智頭町大字智頭 2081 番地 4  
TEL(0858)75-0075(代) FAX(0858)75-1192  
木材加工センター  
TEL(0858)75-0104 FAX(0858)75-1446

## もくじ ☆☆☆☆ CONTENTS



**JForest**

1. 事務所新築急ピッチ・・・・・・・・・・・・・・ (1)
2. 7月豪雨災害の復旧・復興加速中・・・・ (2~3)
3. 石谷林業木材市場開設 50周年を迎えて・(4~6)
4. 千代川流域成長産業化推進協議会について (7)
5. 推進員研修会の概要報告・・・・・・・・・・・・ (8)
6. 森林クラウドシステム・・・・・・・・・・・・ (9)
7. 智頭農林2年生インターンシップ/  
はたらくのりもの展/森林体験ツアー・・・・ (10)
8. 木づかいの国とっとり PR イベント/  
ごうぎん希望の森・・・・・・・・・・・・ (11)
9. 鳥取県林業労働安全大会/  
労働安全パトロールの実施・・・・・・・・・・・・ (12)
10. 地区座談会開催予定/理事会報告・・・・ (13)
11. 出資配当金受領されましたか/購買品 PR・・・・ (14)



**認証材を使おう**  
環境に配慮した森づくり



**智頭町森林組合** (0858) 75-0075  
製材品は木材加工センター

## 事務所新築急ピッチ



地鎮祭の様子

### 事務所新築の概要

- |         |   |
|---------|---|
| 1 建築場所  | 八頭郡智頭町大字智頭字城戸ハニ<br>1918 番地  |
| 2 構造規模  | 木造在来工法・トラス工法<br>建築面積 400.81 m <sup>2</sup> (121 坪)<br>延べ床面積 379.69 m <sup>2</sup> (115 坪) |
| 3 敷地面積等 | 2,820.05 m <sup>2</sup> (854 坪)   |
| 4 発注会社  | ○設計監理<br>(株) 本間設計事務所<br>○敷地造成工事<br>(株) 寺谷組<br>○建築工事<br>寺谷・中村特定共同企業体                       |
| 5 完成予定  | 平成 31 年 2 月 28 日  |

去る6月14日に地鎮祭を執り行い造成工事に着手致しました。軟弱な地盤を少し盛り上げて基礎工事、木材の準備を進めて11月7日に上棟式を行いました。木造平屋建で、在来工法・トラス工法を用いて智頭材の良さを表した建築が急ピッチで進んでいます。

製品構造材約95m<sup>3</sup>、造作材約41m<sup>3</sup>を使用した智頭杉の薫る新しい事務所が来年2月末を工期に完成に向けて進展しています。

## 7月豪雨災害の復旧・復興加速中

平成30年7月5日から7日にかけて、梅雨前線による豪雨により土砂災害が多く発生しました。智頭町では5日5時から7日24時の連続雨量が486mmを観測しました。平成始まって以来の豪雨により、森林組合管理の林道に被害が発生しました。被害を受けた18路線35箇所の林道について、10月2日から11月21日までに国の災害査定により、2億4千万円余りの事業費が認められました。

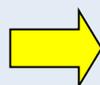
また、間伐材の搬出、テレビ関連林道については、緊急を要するため、災害査定を待たず応急仮工事により通行を確保しました。今後は緊急性のある路線から順次復旧したいと思います。組合員の皆様にはご不便をおかけしますが、復旧にむけてご協力をお願いいたします。

(智頭町では、従来から組合管理の林道にあっても、町が実施主体となり、復旧が行われています。)

### 智頭町大内地内



被災状況

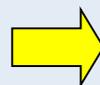


応急仮工事

### 智頭町中原地内



被災状況



応急仮工事

## — 作業道の復旧について —

智頭町森林組合では作業道の災害復旧に取り組んでおり、鳥取県や智頭町の支援をいただきながら復旧作業を進めております。

現在では、下の写真のように復旧作業が済み通行可能となった作業道も出来てきました。

被災した作業道が多いため作業に着手できていない場所もありますが、引き続き復旧作業を進めていき早期の復旧を目指していきたいと思っております。



### 林道・作業道の災害復旧制度

区分	制度	採択基準	補助率
林道	林道施設災害復旧事業 (実施主体：智頭町)	工事費40万円以上 (工事費40万円未満は 小災害扱いで別途対応検討)	激甚災害指定の場合 概ね90%+地方交付税措置
作業道	鳥取県森林作業路網災害 復旧対策事業(単県事業) (実施主体：森林組合)	工事費10万円以上 (上限なし)	5/6(県1/2、町1/3) → 負担1/6
	作業道災害復旧事業 (単町事業) (実施主体：森林組合)	工事費上限50万円	2/3(町2/3) → 負担1/3

## 『 石谷林業木材市場 50 周年を迎えて 』

石谷林業株式会社代表取締役 石谷樹人

### ■ 市場開設から 50 年

おかげさまで、石谷林業株式会社智頭原木市場は、平成 30 年 5 月に開設から 50 年を迎えることができました。これも一重に智頭町森林組合様および組合員皆様の御蔭であると心から感謝いたします。特に良材の原木出荷につきましては、県内外からの買上者様にとって魅力的なものとなっております。

2017 年の智頭町森林組合様からの出荷量は約 1 万 3 千立米、2018 年の見込みは 1 万 8 千立米となっています。

さて、弊社原木市場は、昭和 43 年 5 月に当時の「智頭原木市場」から事業を引き継ぐ形でスタートしたものです。

当木材市場の開設以来の役割は、主に智頭町内の原木を集荷して、せり売りによって広範囲の需要者に販売することにあります。つまり、私達が育てた原木を客観的に納得できる価格で現金化する機能です。また、山主様の急な現金調達必要の際には、前渡金をお支払いしたり、あるいは立木での買取を行うことによって金融的な機能も果たして参りました。

これまでに市場の機能や業態が大きく変化することはありませんでしたが、その役割が地域社会にとって不要になること無く今まで存続できたことはこの上ない喜びです。

### ■ 原木市場の存在意義について

原木市場は不要であるという話を聞くことがあります。林野庁を掲げての試みの「新生産システム」がそれでした。大型製材工場を設置して、山から工場に原木を直送し、国産材マーケットを拡大するというものです。

山土場で仕分けをして、直接需要者に届ければ市場手数料がかからないというのが一つのポイントでした。市場の経営をする者としては気になる事でした。その後、現在に至る状況としては、ある程度山から直送が行われるようになりましたが、全て直送とはなっていません。山土場での仕分け作業は地形の制約で困難なケースが多いことや、市場で販売するほうが高額販売できる優良材が存在するからです。又、価格決定の仕組みがせり売であることから納得ができるという理由もあると思います。

新生産システムの件では、理論どおりになりそうなシナリオでも案外とその通りにはならないものだという事を勉強しました。

直近10年間の弊社市場への全出荷者の出材積については図1の通りの推移となっています。また市での売値（中値）は図2の通りです。

現状としては、市場の持っている機能について理解をいただいているものと感謝を申し上げます。生産者から消費者に商品が行き渡る経路に市場があることによって需要と供給を最適にマッチさせることが出来ます。

また、スピーディーな資金の回収や、出荷者と買い方の貴重な情報交換の場としての機能、公共性の有る情報の発信機能をも持ち合わせた開かれた市場でもあります。

これからも、市場の持つ機能を発揮し続けるようにがんばって参ります。

### ■ 智頭林業の現状について

吉野林業に習ってスタートしたのが智頭林業です。当初から節の無い良材を育てるという伝統的な智頭林業にとって、供給先は随分と変化してきました。もともとは、灘の清酒醸造の木樽のための林業でスタートしているのですが、その後は長押（なげし）や天井板、間柱など、装飾性の高い需要に支えられてきました。現在では合板やラミナ、チップ用材などに支えられています。樹木の成長に比べて世の中の移り変わりの激しいことに驚きを感じます。

智頭スギは全国的に知名度が高まり、優良なスギ生産地として有名になりましたが、世の中の移り変わりによって「優良」の意味が少しずつ変わりつつあります。材の美しさを活かす工芸品的な需要が減りつつあるために、美観面での評価が薄れつつあるのが悲しいところです。

### ■ 今後の御協力お願い

わたしどもの原木市場は、組合員の皆様に出荷していただくことで成り立っています。これからも、智頭地域の林業家の皆様にとっての存在価値がある市場として機能していきたいと考えております。そのためにはより合理的な運営の推進や、情報の発信、またスムーズな販売精算、間違いのない商品受け渡しなど、注意すべき点は多数ありますが、今後とも、智頭町に根差した原木市場として、必要とされる存在でありたいと考えております。全員でがんばって参ります。

何卒よろしくお願ひいたします。

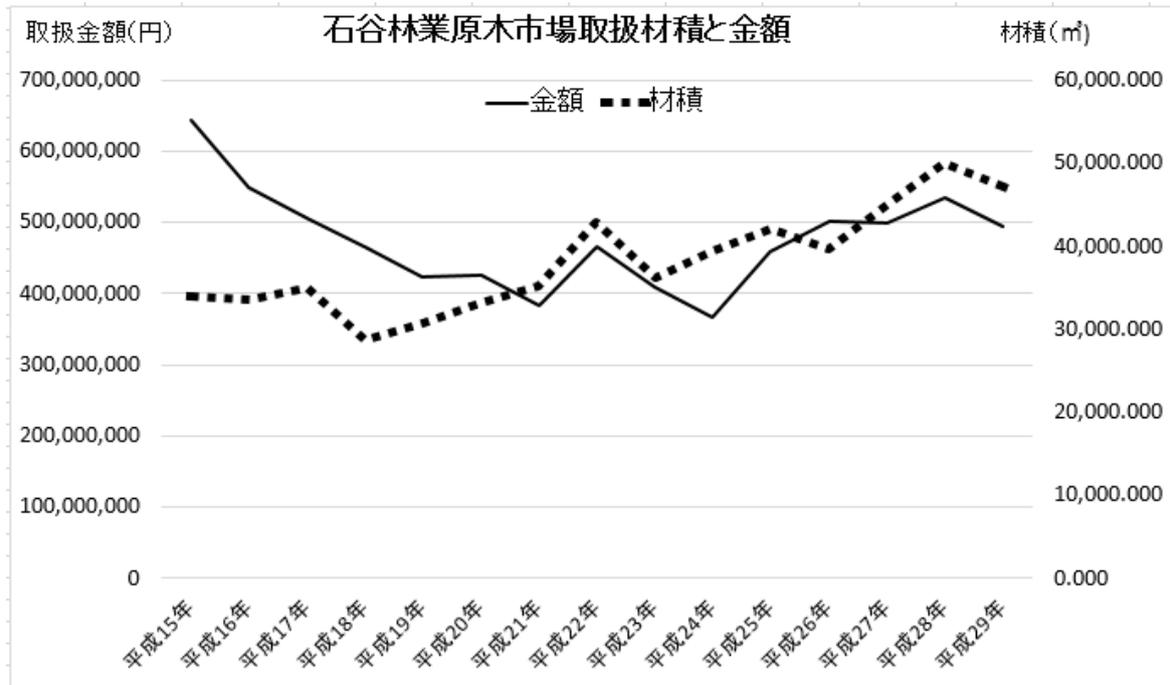


図1 石谷林業原木市場取扱い材積と金額



図2 杉中目材・桧柱材 単価推移表

(資料) 石谷林業木材市場 50周年を迎えて

## 千代川流域林業成長産業化推進協議会について

地域林業の成長産業化を目指す市町等を支援するため、平成 29 年度に林野庁により創設された「林業成長産業化地域創出モデル事業」に基づく平成 30 年度の公募により、千代川流域が選定されました。

それに伴い、千代川流域 1 市 4 町と 3 森林組合のほか関係事業体で構成された「千代川流域林業成長産業化推進協議会」が発足し、平成 30 年 8 月 1 日に設立総会が開催され、事業計画、予算案、役員選任等についての協議がおこなわれました。

### 目 的

地域の森林資源の利活用により、素材生産量を増産することで、雇用や経済価値を生み出し、木材供給者と木材利用者（川上～川下）の協力・連携を図りながら、森林資源の安定需給を図り、地域経済の活性化を目指す。

○協議会会員	鳥取市長	深澤 義彦	
	岩美町長	西垣 英彦	
	八頭町長	吉田 英人	
	智頭町長	寺谷 誠一郎	
	若桜町長	矢部 康樹	
	鳥取県東部森林組合	代表理事組合長	嶋沢 和幸
	八頭中央森林組合	代表理事組合長	前田 幸己
	智頭町森林組合	代表理事組合長	寺坂 安雄
	若桜木材協同組合	理事長	長尾 範通
	用瀬運送有限会社	代表取締役	松尾 広樹
	吾妻商事有限会社	代表取締役	坪内 喬
	山陰丸和林業株式会社	常務取締役	村田 裕志
	三洋製紙株式会社	専務取締役	井川 智永
	鳥取県東部農林事務所	八頭事務所長	熊谷 均

### ○平成 30 年度の取組み（ソフト事業）

- (1) 新たな森林管理システム
- (2) 主伐再造林推進プロジェクト
- (3) 木材利用推進プロジェクト
- (4) 人材育成プロジェクト



設立総会にて

## 平成30年度智頭町組合推進員研修会の開催について

暦の上では立冬をむかえ今年も残りわずかとなりましたが、11月7日に智頭町森林組合推進員研修会を開催しました。

日頃、たいへんお世話をいただいております地区推進委員を始め、関係者の方々総勢48名に、今年度竣工予定の智頭町森林組合新築事務所の建前をご見学いただき、林業や組合の発展を皆様とともに祈願いたしました。また実際の業務状況を肌で感じていただこうと、間伐施業団地の見学を行い、その中で業務に対する貴重なご意見を頂戴いたしました。また、林業の成長産業化に向けた今後の取り組みについて、鳥取県森林・林業振興局地原局長にご講演を賜り、参加いただきました皆様のご理解とご協力をお願いいたしました。

その後の推進員様との親睦会では、活発なご意見を頂戴するとともに叱咤激励をいただき、今後の事業展開へ活かして行きたいと思っています。

地区推進委員様を始め、関係者の皆様へおかれましては、今後益々のご健勝をお祈りし、智頭町森林組合の事業運営にご協力いただきますことをお願い申し上げます。



新築事務所の建前見学



施工会社 本間設計事務所によるご挨拶



間伐施業団地の見学（那岐地区）



鳥取県 森林・林業振興局 地原局長によるご講演

# 森林クラウドシステムの導入

森林・林業に関する森林資源等の情報を一元的に管理し、県、市町村、林業事業者がネットワーク上で情報共有する目的として、次世代情報処理技術（クラウド技術）を活用した鳥取県森林クラウドシステムの運用が平成30年9月より開始されました。

現在本格運用「2020年4月」に向けての準備期間となりますが、今後、森林経営計画の作成や伐採届(15条)、造林補助金の申請などに活用される見込みです。

## クラウドとは

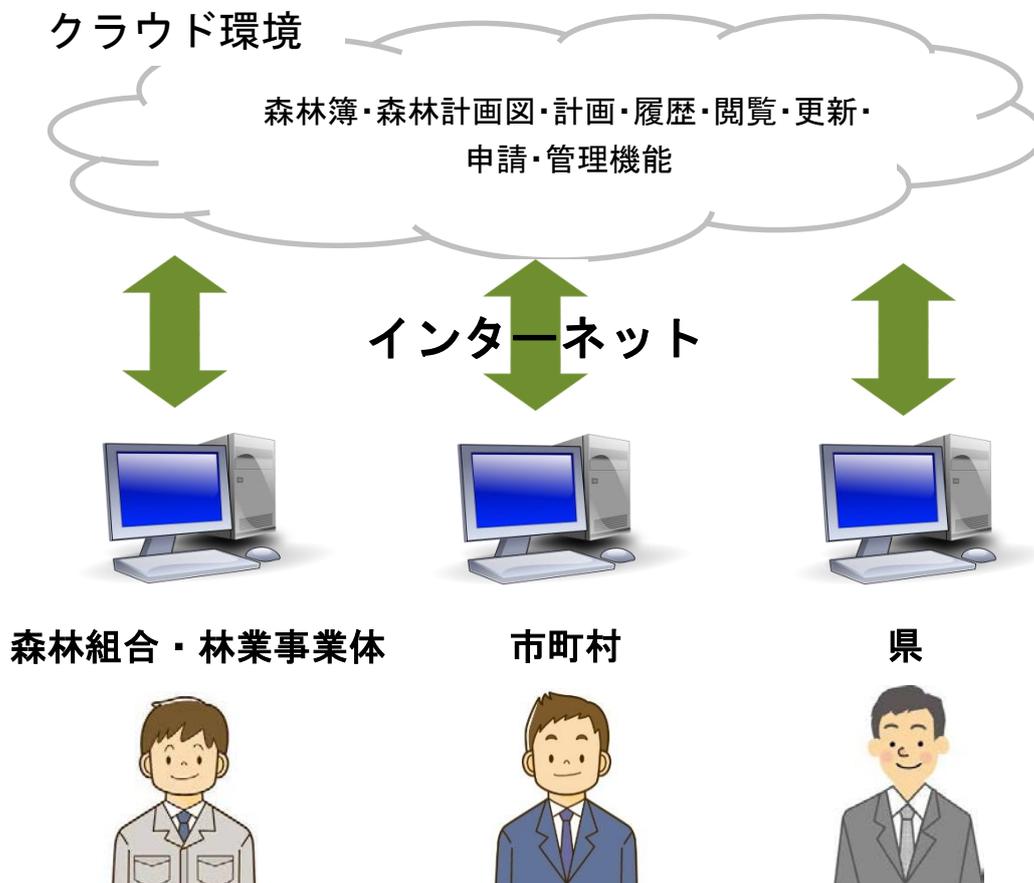
「クラウドコンピューティング」「クラウドサービス」の略。

個々のPCでデータやソフトウェアを管理するのではなく、インターネット技術を利用して、データやソフトウェアを共有・管理する仕組みです。

インターネットの発達と共に様々な分野で使われるようになっていきます。

## 鳥取県森林クラウドシステムで実現できること

県、市町村、森林組合、林業事業者が利用しデータと機能を共有します。



## インターンシップで林業体験

本年度も智頭農林高等学校から要請を受け、森林科学科2年生2名が10月15日から19日の5日間、職場体験を行いました。

研修では、作業道の整備、山林測量、造材搬出作業を行い、最後に加工センターで製材加工を体験学習しました。

5日間の感想は「楽しかったが、体力、集中力、正確な行動が必要だと思う。社会に出た時には周りの人たちと協力して仕事に取り組みたい。」「この研修で得たことを進路に役立てたい。」との事でした。

この研修を参考にして、卒業後は林業関係の仕事に就職してもらえることを期待しています。



研修の様子

## 智頭町はたらくのりもの展

昨年好評だったはたらくのりもの展が、平成30年10月28日(日)智頭駅前周辺を会場に秋晴れの空の下開催されました。当日は森林組合も昨年導入したハーベスタ等を展示し、初めてふれる林業機械に乗って楽しむ子供連れの家族で大盛況でした。



木材運搬車(フォワーダ)



ハーベスタ



グラップル

## 智頭杉の森見学ツアー開催



ツアーの様子



智頭杉の森体験ツアーを10月20日(土)に、6名の参加者で開催を致しました。

智頭杉の良さを感じてもらい、利用拡大を図る「智頭杉でマイホームを!!」プロジェクトの一環として企画しています。

森林見学では組合と協定を結んだ2箇所の森林を見学していただき、初めて林内に入られる参加者もあり、興味深く見ておられました。

森林組合の木材加工センターの見学の後、智頭杉をふんだんに使用した新築住宅見学で、実際に家の中に入って木の良さ、ぬくもりの体感とともに、改めて智頭材の良さを実感し、森林組合の製品を使いたいなどといった嬉しいご意見もいただきました。

## 木づかいの国とっとり 県産材 PR イベント



イベントの様子



10月28日(日)にイオンモール鳥取北店にて「木づかいの国とっとりを実現する会」の県産材のPRイベントに参加しました。

イベントではスギ床の上で木の心地よさスギ材の温かみを感じてもらい、お子様には木のおもちゃで遊んでいただきました。また、智頭スギを使用したコースターづくりの体験など、多くの皆様に楽しいひとときを過ごしていただきました。

※木づかいの国とっとりを実現する会は平成28年設立の県内の林業・木材産業・設計・建築業の民間団体と県が連携して、鳥取県産材の利用を進めるための課題・対策を検討、実行する中心的な役割を担う団体です。

## 共生の森 「ごうぎん希望の森・智頭」活動実施

11月3日(土)に智頭町駒帰地内にて、「ごうぎん希望の森・智頭」の活動が開催されました。晴天の中、山陰合同銀行の皆さんと共同で、下刈りや補植、枝落し作業を行った後、智頭町山村再生課山本課長様による「智頭林業よもやま話」と題した森林教室が開かれました。

短い時間でしたが、参加された方からは「作業を通して森を守る大切さがわかった」「今回植えた木がこれからどう育つのか楽しみ」といった感想をいただき、森林保全の重要性を共有していただく有意義な活動となりました。



枝打ち作業



下刈り作業



## 鳥取県林業労働安全大会の開催について

鳥取労働局・鳥取県・鳥取県林業災害防止連絡協議会による林業安全大会が、平成30年10月30日(火)に倉吉市の倉吉未来中心で林業関係者の参加により開催されました。

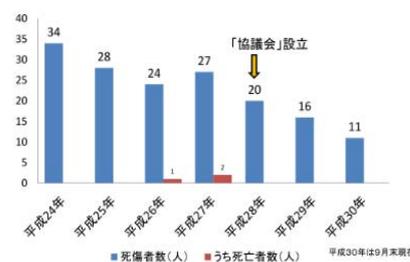
近年、死傷事故については減少傾向ですが、最終目標であるゼロ災に向けて、今後の取り組みについて安全パトロールの実施、安全日誌作成、機械器具点検・安全装備品着用の徹底が大切との話があり、智頭町森林組合もゼロ災に向けて努力していきたいと考えております。

また、万が一事故が発生しても早期の対応が取れるように、LPWA(Low Power, Wide Area：広域無線通信技術)と衛星電話を活用して緊急連絡体制を整えていき、“危険な林業”から“安全・安心な林業”に向け実用化を目指したいとの説明もあり、期待しているところです。

日南町農林課 地域アドバイザー 小菅良豪氏の講話は、平成31年4月に開校する「にちなん中国山地林業アカデミー学校」の整備など基礎から人材育成をして、知識・経験などを現場に波及し林業全体が安全で働きやすい職場へと変えて行きたいという事でした。



災害発生状況(休業4日以上)



・「協議会」設立以降、林業災害は減少傾向(死亡者なし)  
 ・平成30年上半期は災害発生件数が増加傾向(対前年25%増)

## 平成30年度 林業安全パトロールの実施について

鳥取県林業災害防止連絡協議会による林業安全パトロールが、平成30年10月24日(水)に若桜町糸白見の東山国有林内で林業関係者並びに労働基準監督署の皆さんが参加され実施されました。

林業作業現場では、例年死傷事故や災害が多発しており、その要因を早期に発見し、現場の安全確保を図るとともに、林業従事者が安全で安心して働くことができる労働環境を実現することを目的として、今回は、伐倒作業に起因する事案が多いことから、チェーンソー作業及び伐倒作業を重点項目として実施されました。

作業事業体である大和森林㈱の担当者から現場環境及び安全衛生管理体制の概要や緊急時の対応方法などが説明されました。講評では、防災ヘリへの目印として、発煙筒などの常備や掛り木処理のガイドラインの確認及び再指導と日頃からの安全体制の意識付けなどのコメントをいただきました。



作業事業体より説明



かかり木処理



伐根の検証

## 地区座談会開催のお知らせ

新春恒例の地区座談会を次の日程で開催します。

座談会では、森林組合の業務内容、林業を取り巻く動向、新組合事務所建築の進捗状況、行政（国・県・町）の最新林業施策等について説明させていただくと共に意見交換を予定しております。

お誘いの上、多くの組合員のご参加をお待ちしております。

（なお、参加の方には粗品を準備致します。）

日	時	地区	会場
平成31年2月4日（月）	9:30~	富 沢	富沢公民館
平成31年2月4日（月）	13:30~	智 頭	産業会館2階
平成31年2月6日（水）	9:30~	山 郷	山郷公民館（旧山郷小学校）
平成31年2月6日（水）	13:30~	那 岐	那岐公民館（旧那岐小学校）
平成31年2月8日（金）	9:30~	土 師	土師公民館（旧土師小学校）
平成31年2月8日（金）	13:30~	山 形	山形公民館

## 理事会開催報告

第2回理事会 平成30年7月20日

第3回理事会 平成30年10月19日

{協議事項}

- ① 役員賠償責任について
- ② 推進員研修会について
- ③ 6月末残高試算表について
- ④ 常例検査指摘事項の改善について

{協議事項}

- ① 平成30年度上半期の仮決算について
- ② 平成30年度下半期の計画について
- ③ 固定資産の取得について

### — お 願 い — 組合員の名義変更について

組合員の方の死亡等による名義の変更が発生した場合には、手続きが必要です。

届出用紙が組合にありますので、必要な方はご一報ください。

（組合員の届出は2年以内をお願いいたします。）



～出資配当金 受領されましたか～

平成27年・平成28年にご案内した「出資配当金」のお支払については、ご案内から2年以上が経過しましたので、平成31年3月末をもって当組合の資本準備金に繰入させていただきます。

出資配当金は、組合員の皆様が受け取りできる“大切な権利”です！  
手続きがまだの方は、当組合 総務課までご連絡下さい。

(担当：田中 0858-75-0075)



購買品ご案内

～どうぞお求めください～



**パワー森林香 (30巻) 1,300円 (税込)**

林業作業の必需品  
森林作業や屋外での作業に快適です！



**枝打ち鋸 2,800円～ (税込)**

手鋸 丸鋸大集合！  
ワンタッチで替刃に交換できます



**チップソー 1,990円～ (税込)**

農作業にも最適！  
刃の種類豊富に揃えています



**安全クサビ** 大 1,300円  
中 750円 (税込)  
小 450円